

図 1※ 御嶽山 広域地震観測網による御嶽山周辺の地震活動 (1997 年 10 月 1 日～2007 年 6 月 4 日)  
 ● : 2006 年 12 月 1 日～2007 年 6 月 4 日 ● : 1997 年 10 月 1 日～2006 年 11 月 1 日  
 マグニチュードは一部暫定値が含まれており、後日変更することがある。

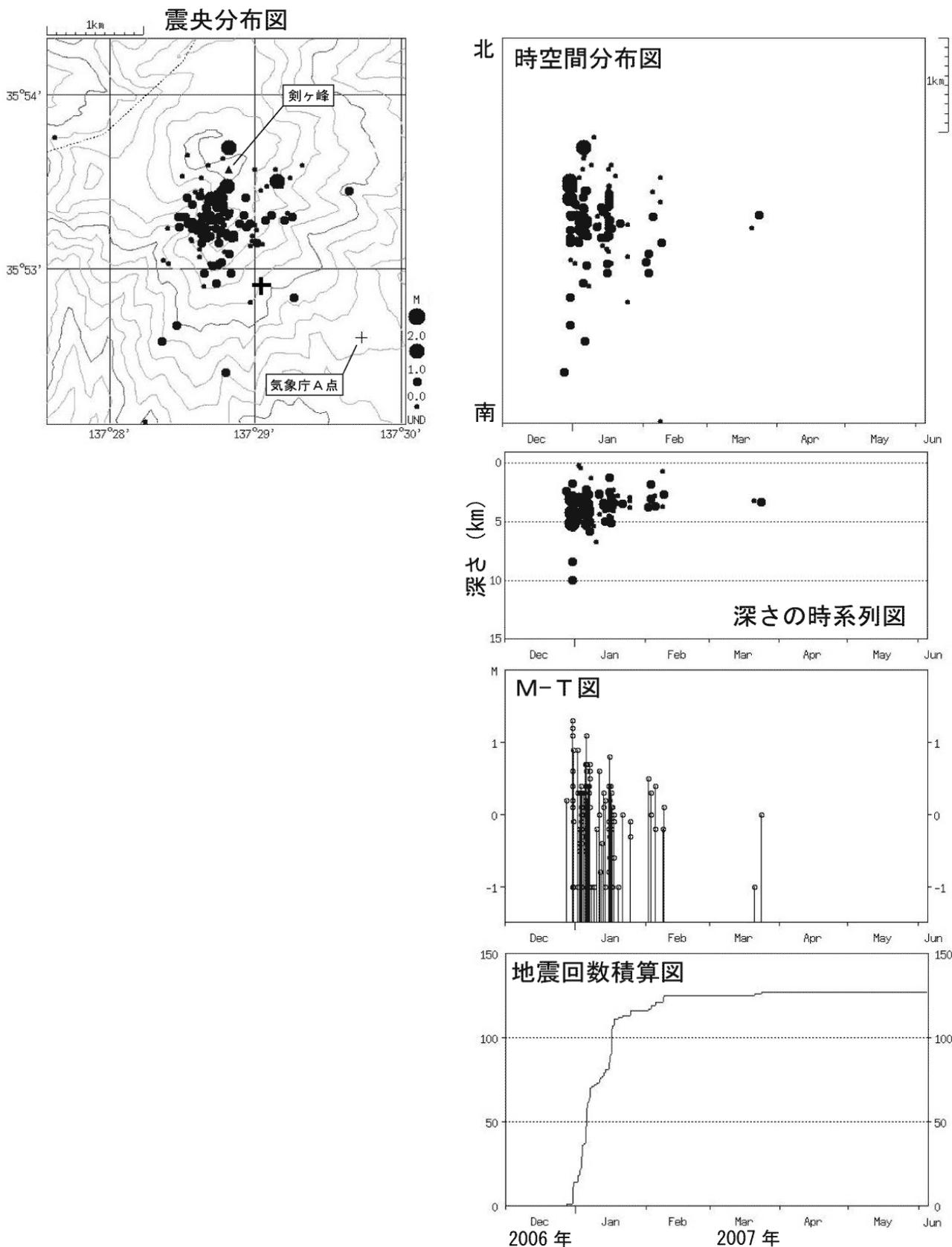


図 2※ 御嶽山 広域地震観測網による御嶽山山頂付近の地震活動  
 (2006 年 12 月 1 日～2007 年 6 月 4 日、マグニチュードは暫定値)  
 マグニチュードは一部暫定値が含まれており、後日変更することがある。

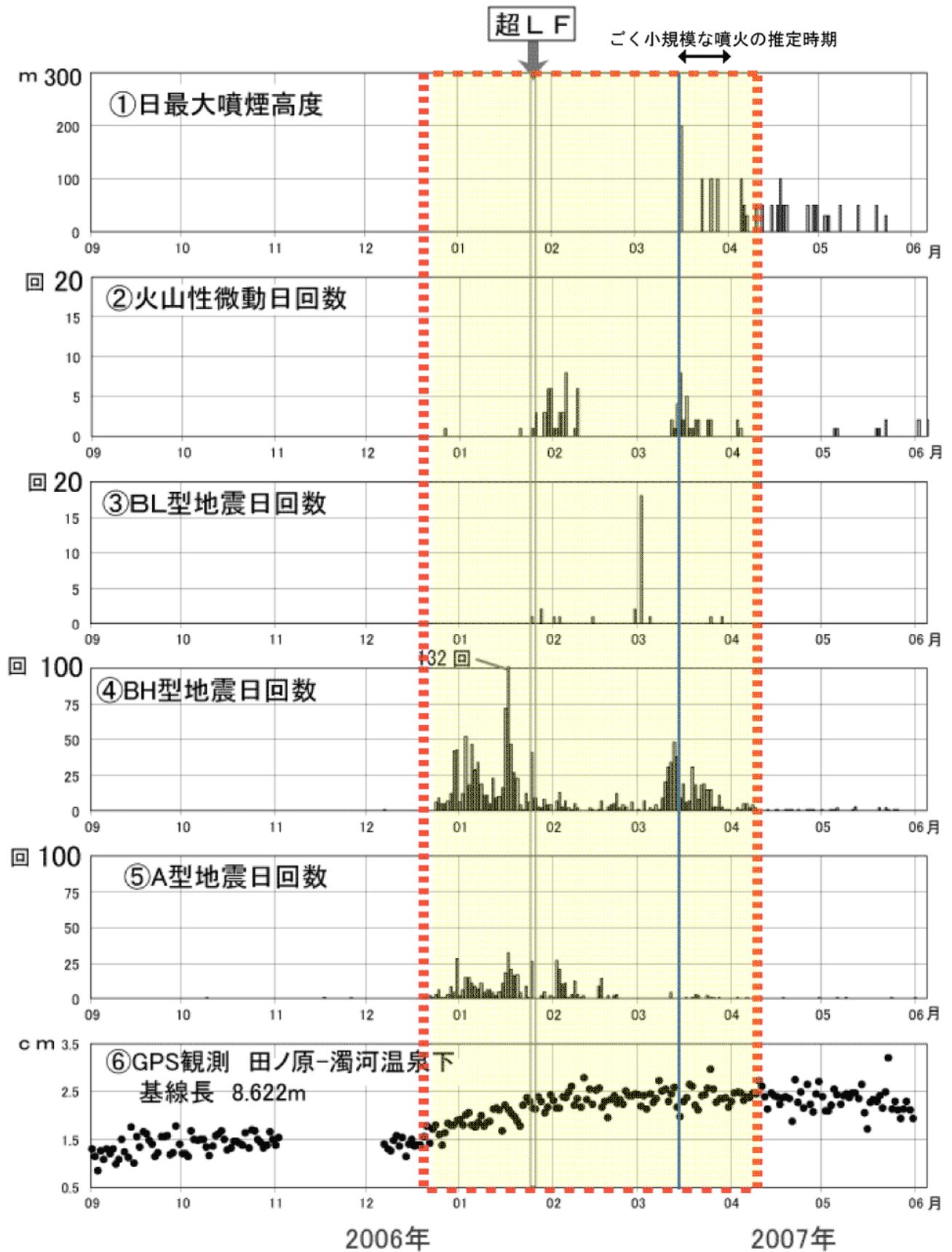


図3\* 御嶽山 火山活動の推移 (2006年9月1日~2007年6月4日)



図 1 8 御嶽山 79-7 火口付近の火山灰の状況（5 月 29 日撮影）

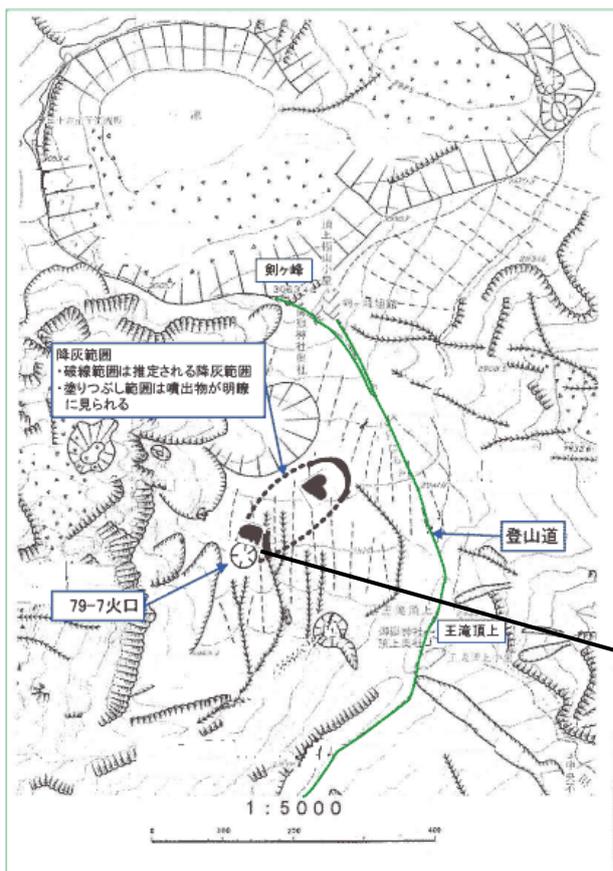


図 1 9 2007 年 5 月 29 日に確認された火山灰分布図および火山灰の写真（5 月 29 日撮影）

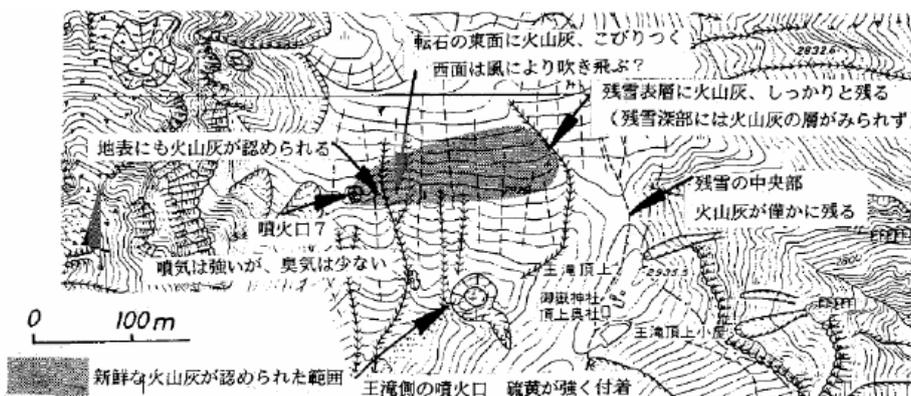


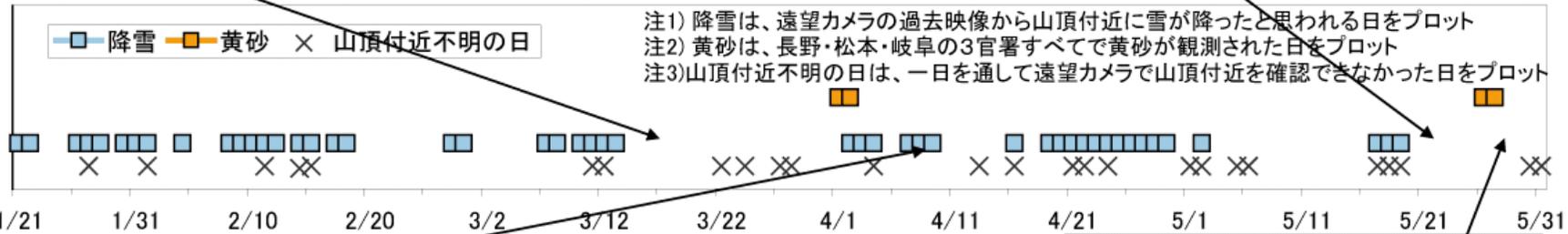
図 2 0 1991 年 5 月のごく小規模噴火時の降灰分布図（木股ら，1991）

【御嶽山山頂の雪・黄砂の状況と97-7火口付近画像の変換 (2007/1/21-5/31)】



① 2007/3/17 長野県防災ヘリ協力のもと御嶽山上空より気象庁撮影  
97-7火口は雪で覆われている。周辺に噴出物が広がっているような箇所は見られない。

③ 2007/5/24 王滝頂上より王滝村澤田氏撮影  
97-7火口付近の雪面上部に噴出物が見られる(図中の矢印部分)。



② 2007/4/8 王滝頂上より王滝村澤田氏撮影  
97-7火口付近の雪面下に変色箇所が見られる(図中の破線部分)。

④ 2007/5/29 剣ヶ峰より気象庁撮影  
97-7火口付近のほか、図のように北西側にも噴出物が広がっているような箇所が見られる。また、雪面上部に黄砂が積もっている箇所も見られる。



図2.2 火山灰の噴出時期に関する調査

御嶽山における火山活動 (- 2007 年 5 月)  
名古屋大学環境学研究科

1. 御嶽山周辺の地震の震源分布

1) 御嶽山山頂周辺で発生する地震の震源再決定

2006年12月30日～2007年5月2日

2006年12月30日から2007年5月2日までの御嶽山の地震の震源再決定をした。山頂直下の地震は深さ-1 - 3 kmに鉛直の棒状に分布する。御嶽山の北にある高根直下の深さ7 - 9kmに地震が起こっている。

Double-Difference法(Waldhauser and Ellsworth, 2000)による震源決定プログラム(hypoDD:Waldhauser, 2001)では、観測点高度が走時計算や微分係数計算に考慮されていない。一方、火山では観測点の標高は2000 mを超えることもある震源決定に影響がある。御嶽山もその例外ではない。そこで、観測点標高を考慮して震源再決定をした(及川・他, 2006)。

*Mt. Ontake hypoDDH 2006 / 12 / 30 ---> 2007 / 5 / 2 N=1317*

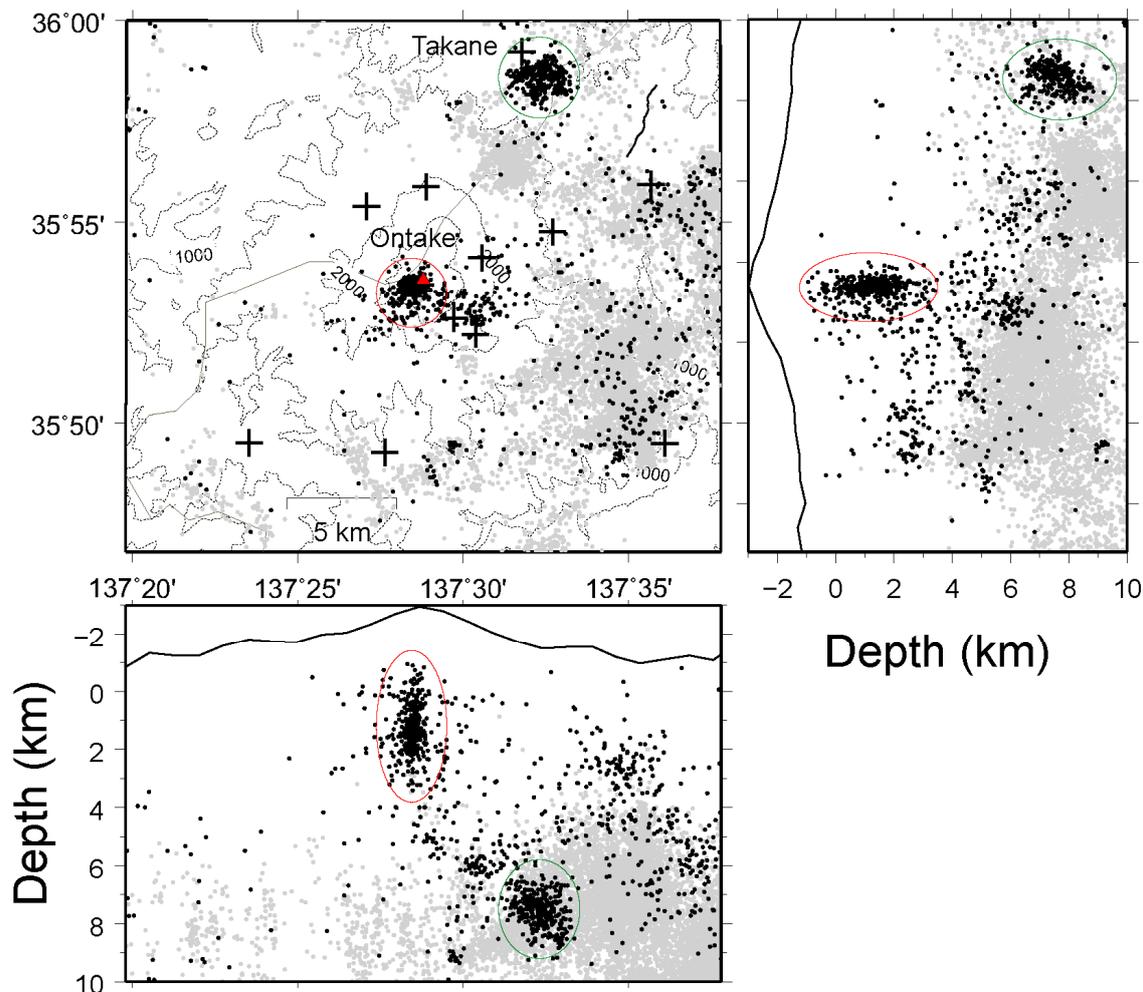
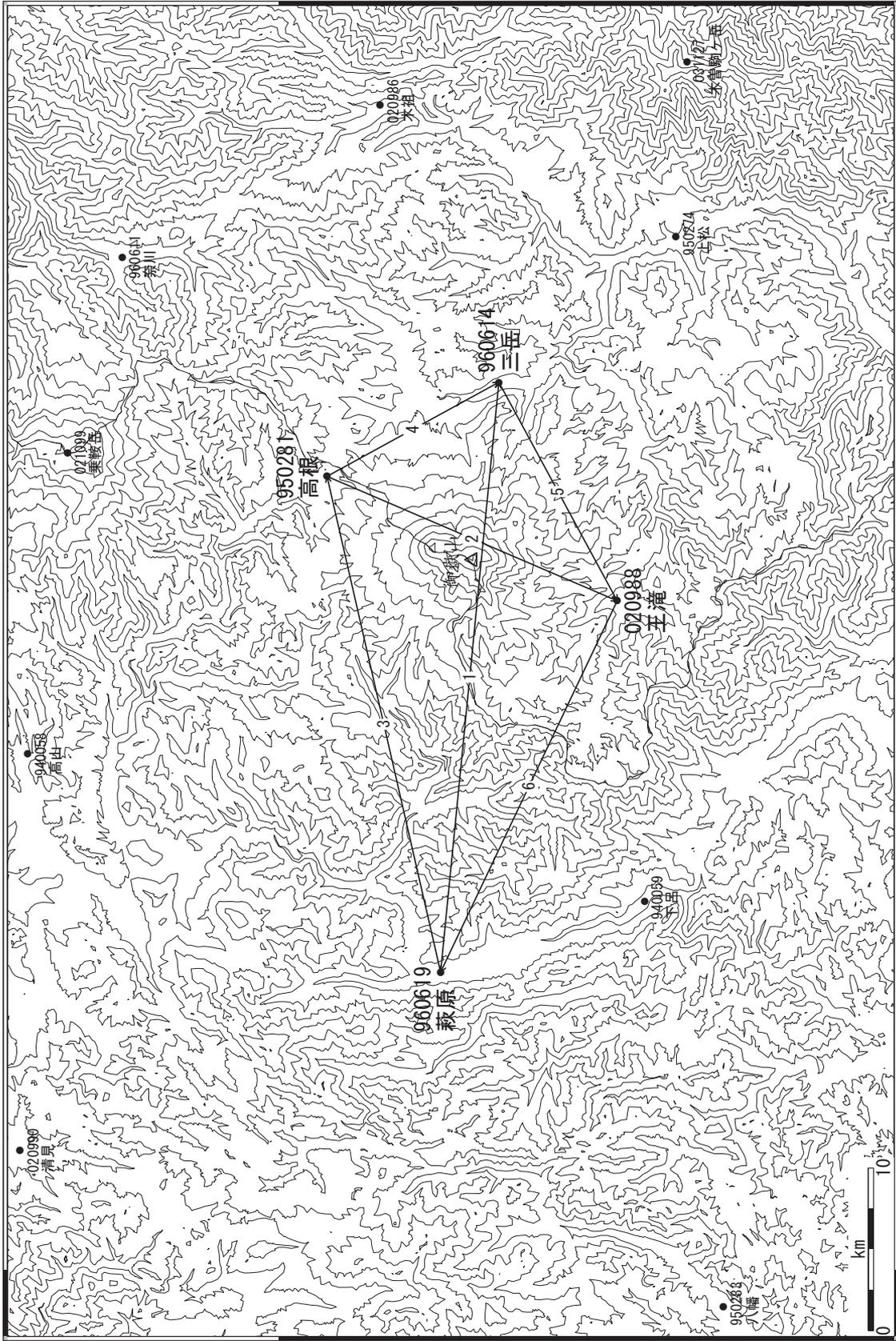


図1. DD法で再決定された御嶽山周辺の地震の震源分布 (2006年12月30日～2007年5月2日)。なお、読み取り処理の都合のためデータは12月30日から2月9日まではすべての時間帯、2月10日から5月2日までは午前零時から6時までの6時間だけである。赤で囲った領域は御嶽山山頂直下の震源位置を示し、緑で囲った領域は高根観測点直下の震源位置を示す。

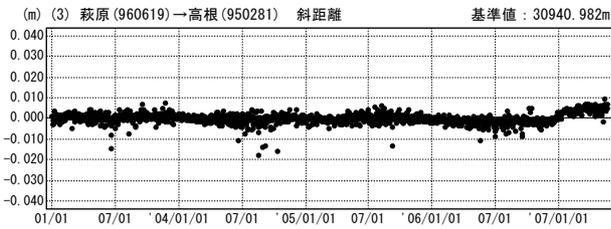
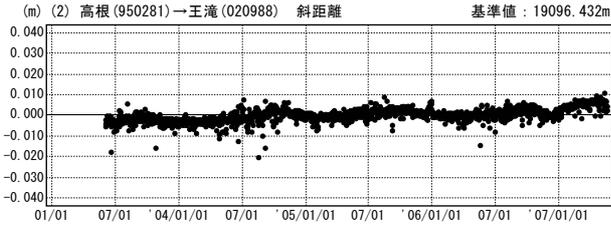
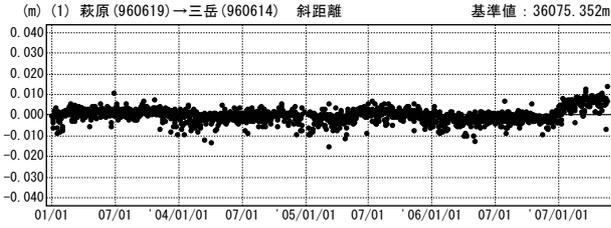
御嶽山地区 GPS連続観測基線図



国土地理院

基線変化グラフ

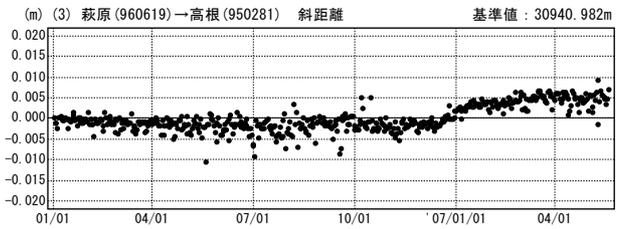
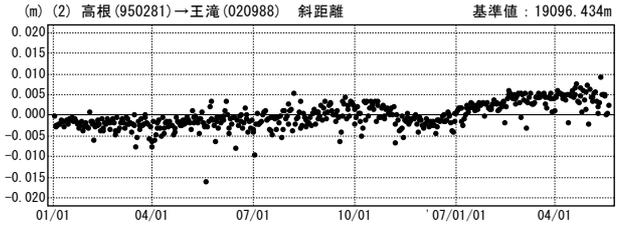
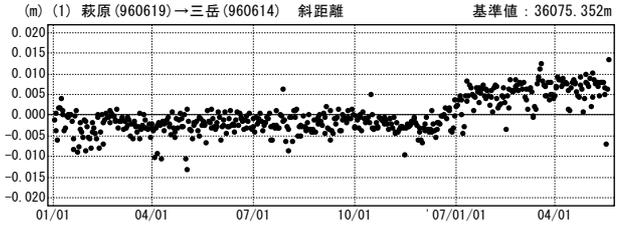
期間：2003/01/01~2007/05/19 JST



●---[F2:最終解]

基線変化グラフ

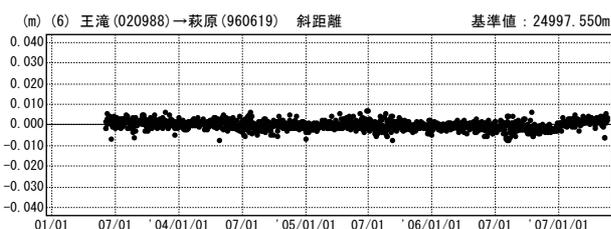
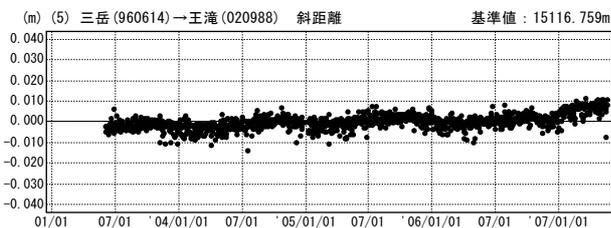
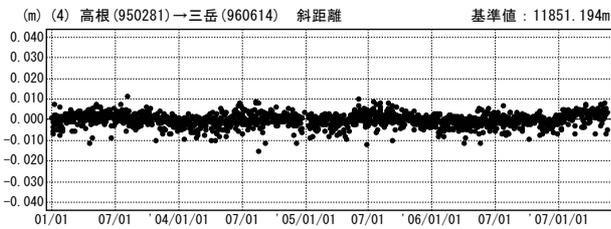
期間：2006/01/01~2007/05/19 JST



国土地理院

基線変化グラフ

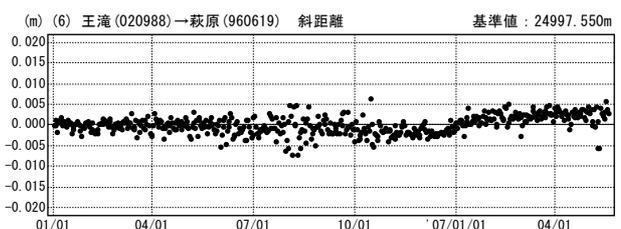
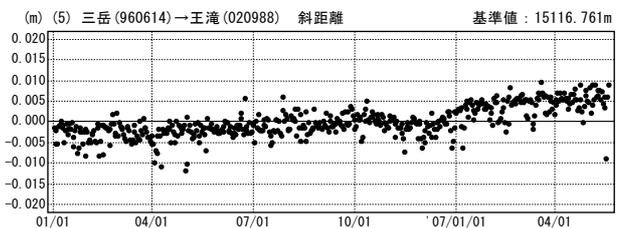
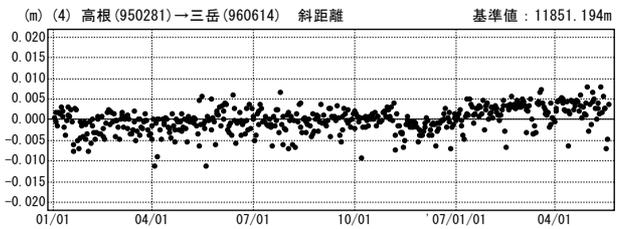
期間：2003/01/01~2007/05/19 JST



●---[F2:最終解]

基線変化グラフ

期間：2006/01/01~2007/05/19 JST



国土地理院

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

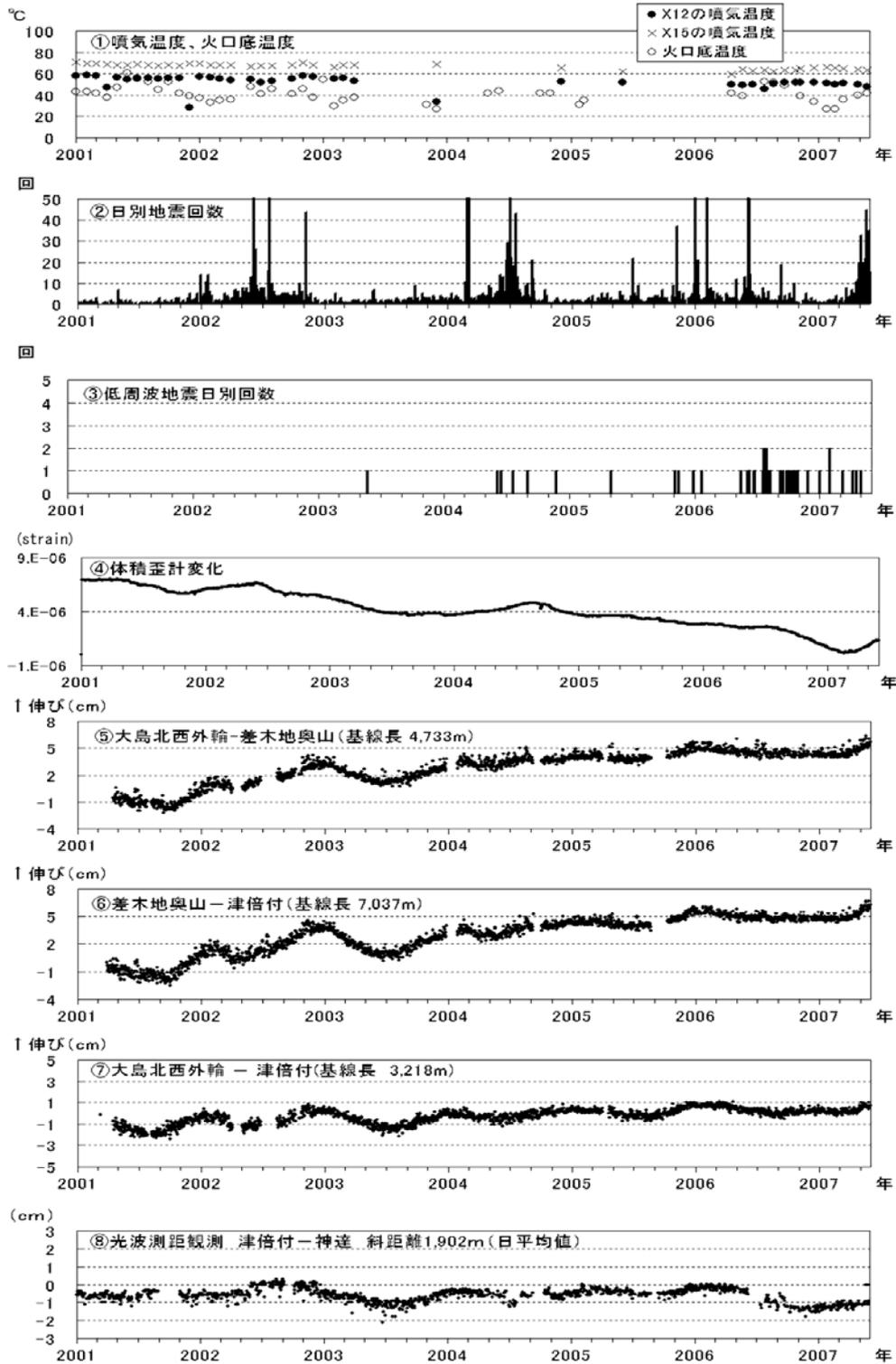


図2 伊豆大島 最近の火山活動経過 (2001年1月~2007年5月)

: 火口底温度 (IR-1) は赤外放射温度計を用いて離れた場所から測定した値、噴気温度 (X-12、X-15) は温度計を用いて直接測定した値

: 体積歪のデータについては温度補正を行っている。また、2001年1月~6月のトレンドを元にトレンドを除去している (図3参照)

~ : GPS連続観測による日平均値 (観測開始は2001年3月7日)  
 (斜距離変化 ~ は図1のGPS基線 ~ に対応している)

: 光波測距観測による日平均値